

授業科目	情報科学	分野	基礎分野	単位数	1	時間数	30	開講	通年
科目目標	コンピュータの使い方を理解し、レポート作成、プレゼンテーション用資料の作成ができる。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	情報リテラシー	ICT「Information and Communication Technology」における情報を扱う上で重要な良識、およびセキュリティ対策について説明する			講義	非常勤講師			
2	パーソナル	パソコンの仕組みについて説明する			講義				
3	Windowsの基本操作	Windowsを扱う上での基本操作（キーボードの使い方など）について説明し、実際に使ってみる			演習				
4	Word(1) : 基本操作	ワードの基本操作を説明し、タイピングの練習を行う			演習				
	Word(2) : ページ設定	文章を作成する前に必要となるページ設定（体裁）を行う			演習				
6	Word (3) : 段組と図の挿入	レジュメ作成の際に使われる段組を行い、図の挿入を行う			演習				
	EメールやSNS, クラウドの使い方	ICTのメリット・デメリットを理解した上で、正しい利用の仕方を学ぶ。また、クラウドを利用したデータ共有を行ったオンライン学習 また、クラウドを利用したデータ共有を行う			演習				
8	Excel (1) : 基本操作	エクセルの基本操作を説明し、データを入力する			演習				
	Excel (2) : 関数 (1)	エクセルで頻出する関数を用いて、計算をする			演習				
10	Excel (3) : 関数 (2)	エクセルで最も使われるIF関数を用いて、それらを組み合わせた計算をする			演習				
	Power Point (1) : 基本操作	パワーポイントの基本操作を説明し、図や文章を入力する			演習				
12	Power Point(2) : アニメーション	効果的なアニメーションを使って、プレゼン資料を作成する			演習				
	Power Point (3) : プレゼン (1)	パワーポイントを用いて、プレゼンテーションを行う (1)			演習				
14	Power Point (4) : プレゼン (2)	パワーポイントを用いて、プレゼンテーションを行う (2)			演習				
	15	定期試験 (90分)	筆記および実技による試験を行う						

授業科目	文章表現論	分野	基礎分野	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	自分の考え、観察や体験した内容を論理的思考に基づいた文章で表現する。								
回	主題	授業内容			授業方法		担当教員（講師）		
1	ガイダンス	授業概要の説明 わかりやすい文章とは？			講義・ グループワーク		非常勤講師		
2	文章作成の基本を理解する1	段落の書き方			講義・ グループワーク				
3	文章作成の基本を理解する2	意見と理由（主張と根拠）の書き方			講義・ グループワーク				
4	文章作成の基本を理解する3	文の書き方			講義・ グループワーク				
5	文章の構造化を考える1	レポートの作成（先行研究を探す）			講義・ グループワーク				
6	文章の構造化を考える2	レポートの作成（目的と構成を考える）			講義・ グループワーク				
7	文章を作成する	文章表現演習（レポート作成）			講義・ グループワーク				
10	体験を言語化する2	文章表現演習・ピアレビュー			講義・ グループワーク				
11	体験を言語化する3	グループ体験（合意形成）			講義・ グループワーク				
12	体験を言語化する4	文章表現演習			講義・ グループワーク				
13	体験を言語化する5	ピアレビュー・論理的とは			講義・ グループワーク				
14	まとめ	文章表現のポイント			講義・ グループワーク				
15	定期試験（90分）	レポート記述							

授業科目	心理学	分野	基礎分野	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	心理学の基礎を学び、人間行動を心理学的に理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	心理学とは	イントロダクション：心理学の概要			講義	非常勤講師			
2	感覚・知覚の心理学	感覚・知覚の心理			講義				
3	学習の心理学(1)	レスポナント条件づけ			講義				
4	学習の心理学(2)	オペラント条件づけ			講義				
5	記憶の心理学(1)	記憶の仕組み			講義				
6	記憶の心理学(2)	記憶の働き			講義				
7	動機づけの心理学(1)	欲求と感情			講義				
8	動機づけの心理学(2)	動機づけの仕組みと働き			講義				
9	発達の心理学(1)	発達の原理			講義				
10	発達の心理学(2)	発達の過程			講義				
11	社会の心理学(1)	自己の認知			講義				
12	社会の心理学(2)	他者の認知			講義				
13	知能・人格の心理学	知能・パーソナリティの心理			講義				
14	臨床の心理学	心理的支援			講義				
15	総括	試験							

授業科目	家族社会学	分野	基礎分野	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	集団としての家族とその形態や機能を学び、現代社会の特徴と諸問題を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	家族社会学とは	家族社会学とは、社会学とは			講義	非常勤講師			
2	家族の起源と進化	家族とは（家系図を書こう）			講義				
3	家族に関する基礎的概念1	集団としての家族			講義				
4	家族に関する基礎的概念2	制度としての家族①			講義				
5	家族に関する基礎的概念3	制度としての家族②			講義				
6	家族の機能	家族の機能①			講義				
7		家族の機能②			講義				
8		家族機能の外部化および個人レベル 食卓にみる家族関係の変化			講義				
9									
10	家族の暗部	機能不全家族について ファミリー・バイオレンスの類型			講義				
11	親-成人子関係のゆくえ	離婚における変化			講義				
12					講義				
13		少子高齢化における変化			講義				
14		配偶者選択の変化			講義				
15	定期試験（90分）								

授業科目	生命倫理	分野	基礎分野	単位数	1	時間数	30	開講	通年
科目目標	生命倫理学の基礎を習得し、倫理問題に対する適切な判断と対処ができる能力を養う。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	生命倫理学への誘い	Bioethics（生命倫理学）の定義。その成立の歴史的背景。従来の医の倫理とBioethicsとの相違。インフォームド・コンセントの歴史。			講義	非常勤講師			
2	インフォームド・コンセント	パターナリズム。インフォームド・コンセントの意義と実践上の問題。インフォームド・アセント。インフォームド・リフューザル。シェアード・ディシジョン・メイキング。			講義				
3	西洋の人間観と人格の定義	現代のパーソン論が継承している西洋思想における「人格」の概念について歴史的に振り返った後、現代のパーソン論における論点を紹介する。			講義				
4	パーソン論								
5	倫理学の基礎理論	応用倫理学としての生命倫理を学ぶに際して、その基礎となる伝統的な倫理学のうち、代表的な功利主義と義務論の概略を知ってもらう。			講義				
6	生殖補助医療	生殖補助医療の国内外における現状とその倫理的問題点			講義				
7									
8	出生前診断・着床前診断	出生前診断の国内外における現状とその倫理的問題点 着床前診断についても考察する			講義				
9	移植医療	臓器移植の国内外における現状とその倫理的問題点			講義				
10	生命の神聖さと生命の質	生命の神聖さ（SOL）・生命の質（QOL）という考え方との関連で、治療行為の中止、安楽死、尊厳死について国内外の現状もふまえながら考察する			講義				
11	安楽死・尊厳死								
12	生命倫理の基本原則	上記11回までの内容を振り返りながら、生命倫理の基本原則を整理する			講義				
13	患者の自己決定と社会的決定	患者の自己決定とその許容範囲、社会としての決定と法整備について。医療資源の配分について。			講義				
14	生命倫理と家族	患者の家族は、生命倫理のなかでどのように位置づけられるか			講義				
15	定期試験（90分）								

授業科目	人間関係論	分野	基礎分野	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	対人関係における社会心理学的なプロセスを学び、人間の対人社会行動について理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	対人関係の心理	イントロダクション：対人社会心理学			講義	非常勤講師			
2	対人認知(1)	印象形成			講義				
3	対人認知(2)	認知の偏り・歪み			講義				
4	対人認知(3)	対人魅力			講義				
5	親密化(1)	親密化の過程			講義				
6	親密化(2)	コミュニケーション・チャネル			講義				
7	親密化(3)	社会的スキル			講義				
8	コミュニケーション	依頼と説得			講義				
9	自己過程(1)	自己概念と対人関係			講義				
10	自己過程(2)	自己評価と対人関係			講義				
11	自己過程(3)	自尊心と対人関係			講義				
12	集団過程(1)	社会的影響			講義				
13	集団過程(2)	集団の影響			講義				
14	集団過程(3)	社会的勢力			講義				
15	総括	試験							

授業科目	ボディワーク	分野	基礎分野	単位数	1	時間数	15	開講	前期
科目目標	身体的存在である自己・他者への感受性をみがく。そのことにより、自分の身体や他者の身体が発するメッセージに気づき、働きかける力をつける。								
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）		
1	オリエンテーション	からだに会う コミュニケーション実習				体験学習 講義	非常勤講師		
2	学び方を学ぶ	体験学習の循環過程 B&F Diary導入				講義			
3	私達の認識の基礎	「ものを知る」実習				体験学習			
4	自分の偏りを知る	偏りを知り、豊かな認識の手がかりを掴む				講義			
5	身体言語とかかわり	非言語コミュニケーション実習				体験学習			
6	自己成長のキーワードと他者理解	「心の四つの窓」導入 自己開示				体験学習 講義			
7	ふれる	「ふれる」実習				体験学習 講義			
8	学びの振り返り	学びのデータの整理と分かち合い				講義			

授業科目	保健体育	分野	基礎分野	単位数	1	時間数	15	開講	前期
科目目標	看護職員（看護専門職）として生涯働いていくには、健康と体力の保持増進のために適度な運動が必要である。また、スポーツを通して身体の動かし方やコミュニケーションを図るために設定する。主に健康づくりやセルフケアにつながる運動について学ぶ。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	オリエンテーション	からだと対話する（現状把握）			講義・実習	非常勤講師			
2	セルフケアとしての運動	呼吸・ヨガ・指ヨガⅠ			実技				
3	セルフケアとしての運動	呼吸・ヨガ・指ヨガⅡ			実技				
4	健康づくりの運動	有酸素運動・トレーニングの基礎知識			講義・実習				
5	健康づくりの運動	有酸素運動・トレーニングの実践			実技				
6	スポーツ・運動を通じた健康づくり	ソフトバレー・バドミントン・卓球など			実技				
7	スポーツ・運動を通じた健康づくり	ソフトバレー・バドミントン・卓球など			実技				
8	スポーツ・運動を通じた健康づくり	ソフトバレー・バドミントン・卓球など			実技				

授業科目	接遇マナー論	分野	基礎分野	単位数	1	時間数	15	開講	前期
科目目標	社会人としての正しい応対を身につける。								
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）		
1	授業ガイダンス	授業の心構え 挨拶と自己紹介 第一印象				講義	非常勤講師		
2	立ち居振る舞い（1）	敬語 正しい姿勢・お辞儀・尊敬語と謙譲語				講義 実技			
3	立ち居振る舞い（2）	敬語 正しい姿勢・お辞儀・尊敬語と謙譲語 歩き方・物の受け渡し				講義 実技			
4	聴き方・話し方のマナー	一般常識・名刺交換・感じの良い言葉遣い・報告連絡相談のマナー				講義 実技			
5	コミュニケーション実践	聴き方と話し方・分かりやすく伝える方法				講義 実技			
6	電話対応の実践	プラスαの思いやりの声かけ・仲間同士のマナー・接し方 コミュニケーションの実践練習				講義 実技			
7	来客対応の仕方・訪問の仕方	席次・お茶出し・案内の仕方の基本				講義 実技			
8	定期試験（60分）								